

事業番号	事務事業名	かがみの健康チャレンジ事業費	所管課名	保健福祉課	令和 2 年度課長名	水島 剛
02392	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康係	担当者・シート作成者
	施策名	12	健康づくりの推進	根拠法令等	鏡野町健康づくり条例	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	住民自らが健康づくりに取り組み、また地域全体でも取り組んでいけるよう支援する事業。 町民の自主性を図るためチャレンジカードを広報紙に織り込んだ。町民が各自の健康づくり目標を決めて参加者は、目標達成を目指して、90日間健康づくりの活動を行い、チャレンジカードに記録。期間終了後、記入済みのチャレンジカードを町に提出。町は、達成者全員に参加賞を一律送付。協賛団体は広報紙へ健康づくり応援事業所として掲載し事業所の方にも積極的に参加してもらった。	健康づくりは鏡野町の最重要施策に掲げられており、平成25年度に健康づくり条例が制定、平成26年度には「健康かがみの21」健康増進計画を策定。住民の健康づくりの支援として、①住民1人ひとりが健康づくりの取り組みに参加するきっかけとなること、②活動が持続すること、③話題性があり普及啓発につながることを、目指した事業の実施が必要となったため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 0歳以上の町民、在勤者	ア 0歳以上の町民	人	見込 実績	12,435 12,926	12,285 12,754	12,143 12,625	11,970	11,800
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 住民自身が自ら健康づくりに取り組む	ア 健康づくりに取り組んでいる町民の割合	%	目標 実績 達成率	97.0 96.9 99.9%	97.5 97.7 100.2%	98.0 97.8 99.8%	98.0	98.0 99.8%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 事業参加者募集	ア 事業参加人数	人	目標 実績 達成率	1,000 1,148 114.8%	1,000 1,228 122.8%	1,000 1,014 101.4%	1,100	1,100 92.2%
イ 取り組みへの働きかけ	イ チャレンジカード返送割合	%	目標 実績 達成率	90.0 82.0 91.1%	90.0 81.6 90.7%	90.0 71.5 79.4%	90.0	90.0 79.4%
ウ 協力団体募集	ウ 協賛事業者数	団体	目標 実績 達成率	60 66 110.0%	60 66 110.0%	60 48 80.0%	60	60 80.0%

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01	款 04	項 01	目 02	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号					
	一般会計	衛生費	保健衛生費	予防費	12	02	かがみの健康チャレンジ事業費	02392					
予算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比	決算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町債							町債						
その他特財							その他特財						
一般財源	2,506	2,310	1,603	1,654	1,654	-707	一般財源	1,599	1,228	1,270	1,654	1,654	42
合計	2,506	2,310	1,603	1,654	1,654	-707	合計(A)	1,599	1,228	1,270	1,654	1,654	42
財源名称	従事正職員人数						2	2	2	2	2	2	
	延べ業務事務時間						600	600	600	600	600	600	
	人件費計(千円)(B)						2,029	2,100	2,006	2,010	2,010	2,010	-94
最終予算額		1,603千円	予算執行率	79.2%	トータルコスト(A+B)		3,628	3,328	3,276	3,664	3,664	-52	
主な支出事業内容(予算)	需用費・消耗品費			960千円			主な支出事業内容(決算)	需用費・消耗品費			705千円		
	需用費・印刷製本費			181千円				需用費・印刷製本費			167千円		
	役務費・通信運搬費			388千円				役務費・通信運搬費			388千円		
	役務費・手数料			10千円				役務費・手数料			10千円		

事業番号	02392	事務事業名	かがみの健康チャレンジ事業費	所管課名	保健福祉課
------	-------	-------	----------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
平成25年度鏡野町健康づくり条例が制定、平成26年度健康増進計画「健康かがみの21」が策定され、健康づくりは鏡野町の最重要施策に掲げられている。以前にも増して、町民が健康づくりに取り組む支援ときっかけづくりが必要になっている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
平成29年度より、それまで20歳以上を事業対象としていたが、世代を問わず地域全体での取り組みに向け、全町民の参加を可能とした。事業達成者へは一律参加賞を町より送付とした。参加者にアンケートを実施し事業の振り返りとした結果、約72%の回収率があり多くの方よりご意見がいただけた。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
参加者からは健康づくりに役立った、少し役立った方が94%となり、自主的な健康づくりが定着していると推測される。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	平成25年度に健康づくり条例制定、平成26年度には「健康かがみの21」健康増進計画が策定された。健康づくりは鏡野町の最重要施策に掲げられ、町ぐるみで健康づくりに取り組むことが示されており、整合性は保たれている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	町の最重要施策に掲げられている健康づくりを推進するための事業であり、町民の健康への意識が高まれば医療費の抑制、さらに健康に働くことで町の産業の振興にもつながる。しかし今後は、町主導ではなく、住民が自分自身で健康づくりに取り組めるような事業を工夫していく必要があると考える。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	平成27年度からの新規事業であるが、回を重ねるごとに町民や町内の事業者、関係機関への周知を行い、事業の存在は定着し、参加者の増加もみられている。また、今年度は商品抽選をやめ、町からの一律参加賞としたがアンケートからは「自分の健康づくりなので抽選会はなくてもよい。」との声も聴かれ、健康づくりの意識の定着が見られたと考える。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	関係機関、協賛事業者からの周知方法について等、連携が必要と考える。関係機関、協賛事業者へも事業の目的の周知と事業への参加の呼びかけを行う必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	健康づくりは町の最重要施策であり、本事業を廃止した場合、他の取り組みを検討する必要がある。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	協賛事業者からの賞品贈呈の規模を今回撤廃し「健康づくりを応援する企業」として従業員の参加等を呼び掛けたところ参加事業所が減ったが本来の健康づくりの目的は果たしている。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	今回一律町からの参加品にしたが参加者は214人の減少であり、アンケートでも94%が健康づくりに役立ったと回答している。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	チャレンジカードも最初から挟み込む形で広報紙へ入れたことと、参加賞を町からの一律の物とし、削減を図ることができた。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	全町民が対象であり、各世帯、各年齢、関係機関等漏れのないように周知している。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	事業参加者はここ3年は1,000人を超えている。今年度から参加賞を送付せず実施を促したが、コロナ禍の影響もあり、昨年度より参加者が減少した。協賛事業者についても、減少したが、新たに従業員の事業参加に取り組んだ事業所もあり、地域全体での健康づくりにつながっている手ごたえはあった。しかし、賞品の準備や個人情報の管理など、事業に係る経費や事務量は多く、住民の自主的な取り組みに向けては、見直しの余地があると考ええる。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 健康づくりは町の最重要施策であり、今後、本事業については、町民が主体性に取り組むことができる事業の1つとなるよう実施方法などを見直しが必要と考える。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持	○																							
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
事業の継続を望む意見の中に実施方法の改善があり、今後他の健康づくりとの連携も考える必要がある。																									